

令和4年度						年間授業計画					
教科・科目			家庭			保育			2 単位		
対象学年・組			3 年生						必修選択		
教科書 (出版社)			子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う (教育図書)			副教材等			教科書準拠ワークノート (教育図書)		
学習目標			・子どもの発達と保育・福祉について理解させるとともに、発達を支える養育者の役割及び保育の重要性について認識する。 ・子供文化の歴史を知り、子どもの遊びや文学について学ぶ。 ・保育園や公園などで、子どもと触れ合う体験をすることで、知識では得られない子どもの生活を習得する。								
学期		予定 時数	単元		指導内容		具体的な指導目標				
1	前半	12	子どもの保育		保育の意義と目標 保育の方法 保育の環境		保育の意義と必要性を理解し、まとめられるようにする。 様々な保育方法を理解すると共に、ニュース等現代社会における保育について関心を持つ。 子どもの生活の様子、集団保育の実態を体験する。				
	後半	12	子どもの福祉と 子育て支援		子どもの福祉 子育て支援		子どもが適切な環境の中で成長していくために必要な、社会支援の仕組みを調べ、ニュース等と関連付けてまとめられるようにする。 絵本の重要性を考え、読み聞かせが出来るようになる。				
2	前半	14	子どもの発達と特性		生涯発達における乳幼児期の重要性 発達と環境 発達観・児童観とは		資料を使いながら、乳幼児の発達を理解し、その重要性に対する認識を深める。 幼児の遊びを通し、発達段階の理解や保育者としての技能を身に付ける。				
	後半	14	子どもの生活		子どもの健康と生活 子どもの食事 子どもの衣服		乳幼児の生活の特徴を知り、発達段階に応じた適切な保育について考え、まとめられるようにする。 子どもの生活の様子、集団保育の実態を体験する。 保育者に必要な技能を習得する。				
3		18	子どもの生活 まとめ		子どもの遊びと生活 子どもの健康管理		様々な遊びの種類と特徴、意義について理解する。 場面に応じた遊びや児童文化財の選択に興味を持ち、実践する。 子どもの健康管理の意義と方法、社会的支援についてまとめる。 年間の学習をふりかえり、まとめる。				
評価の観点 (評価基準)			・子どもの発達、生活などの特性・特徴を理解し、自分なりの考えを持つことが出来るか。 ・子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支援する必要性を理解しているか。 ・保育実習等で子どもと触れ合い、子どもの発達の実際の姿、保育者の役割を観察し理解しているか。								
評価の方法			・定期考査の成績に、学習状態を参照して評価する。 ・学習状態にはレポート・プリント・作品提出、授業態度、出席状況等が含まれる。								
学習の手引き			・子ども・保育に関する新聞記事を年間を通じて読む。 ・おりがみやあやとり、童謡や映像から保育者としての資質を磨く。 ・教科書に書かれている保育に関する基本的な施策について読み、まとめる。 ・子どもの目線で生活のあらゆる場面を観察する。								
授業担当者			嶋根智子								